



騒音計のハイエンド

精密騒音計

[1/3オクターブ分析機能付]

NA-28

豊富な機能で、使いやすいコンパクト設計

リオンは「現場での計測にスピードと安心」を提供することにこだわりました。
その結実が、精密騒音計NA-28です。

NA-28は、計測を効率的にするための「オクターブバンドと1/3オクターブバンドの同時分析」、見やすい「バックライト付、カラーTFT液晶」、迅速なデータ転送を可能にする「USB接続」により、本体を「リムーバブルディスクとして認識」する機能を採用しました。

さらに環境に配慮した低消費電力の「エコ設計」、安心して操作できる「日本語メニュー表示」。高機能で操作は簡単に…こだわりが実現しました。

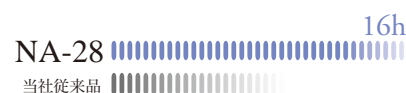
Color Display
TFT-LCD



Battery life

現場使用に対応した電池寿命 約16時間

*単2形乾電池(アルカリ)×4。使用条件により異なります。



Memory

大容量メモリ 最大1000時間

*オート1ストア、1/3オクターブ分析で、1秒ごと記録。
2 GB×メモリーカード使用時

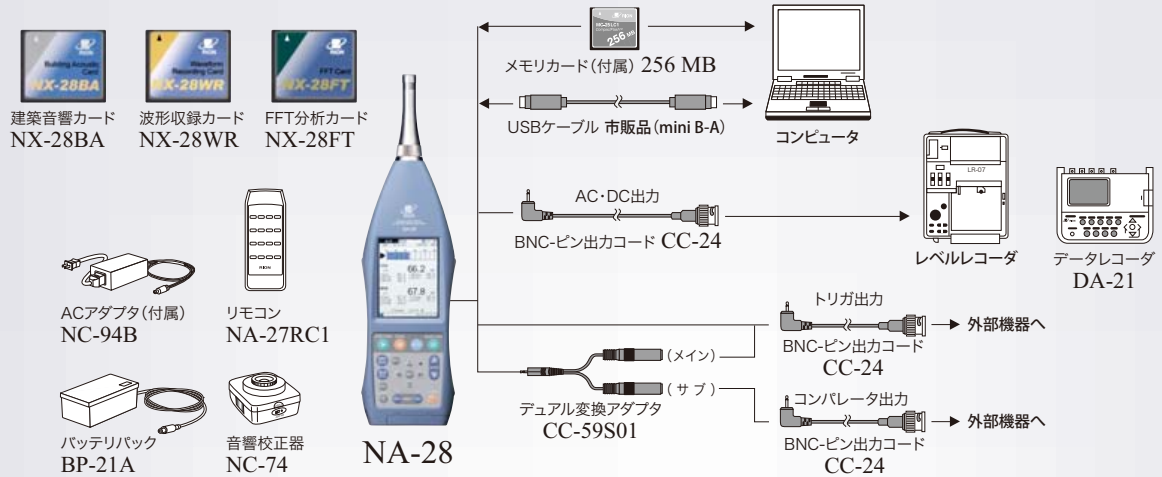


精密騒音計

[1/3オクターブ分析機能付]

NA-28

システム構成



オクターブ、1/3オクターブバンド実時間分析の同時測定が可能

バックライトによる見やすい、「TFTカラー液晶とキー操作パネル」の採用

- 16 Hz～16 kHzまでのオクターブバンド実時間分析、
12.5 Hz～20 kHzまでの1/3オクターブバンド実時間分析が可能
(オクターブ、1/3オクターブバンド同時測定時、オクターブバンドは8 kHz、1/3オクターブバンドは12.5 kHzまで)

測定結果はメモリカード(CFカード)にテキストファイルで直接記録

コンピュータとの通信にUSBを利用(ストレージ対応)

赤外線リモコンにより、本体に触れることなく遠隔操作で制御が可能(オプション)

コンパレータ出力はオープンコレクタで、外部機器の制御が可能

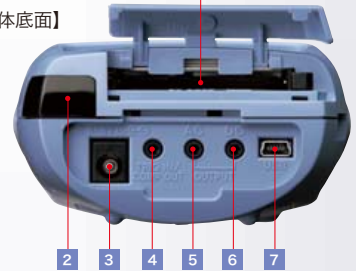
外部機器からも制御可能なトリガ入力端子を装備

各種プログラムカードによる機能拡張

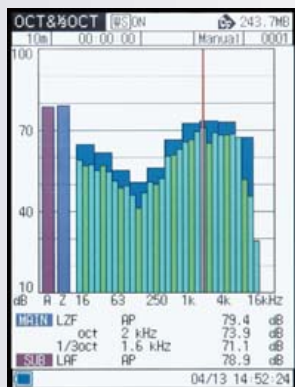
多彩なユーザーインターフェース

- 1 CFカードスロット
- 2 赤外線リモコン受信部
- 3 ACアダプタ端子
- 4 トリガ入力、コンパレータ出力兼用端子
- 5 交流出力端子
- 6 直流出力端子
- 7 USB端子

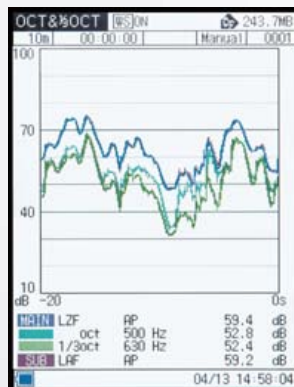
【本体底面】



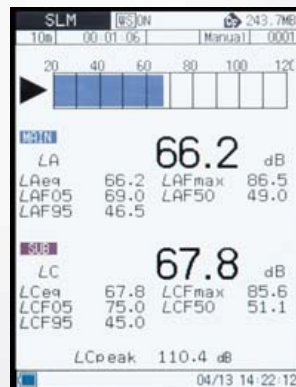
表示画面例



分析器モード画面
(オクターブ&1/3オクターブバンド同時分析)



分析器モード画面
(時間対レベル表示)



騒音計モード画面
(騒音レベル表示)



メニューリスト画面
(日本語表示)



リモコン
NA-27RC1 **オプション**



メモリカード 256 MB
MC-25LC1 **付属**





波形収録カード NX-28WR

NX-28WRはNA-28に録音機能を付加するプログラムカードです。NA-28とNX-28WRを使用すると、周波数分析中に、測定された音圧レベルと共に音圧波形を収録することが可能です。収録データは非圧縮のWAVE形式なので、WAVE形式に対応したソフトウェア※1で取り扱い可能です。さらに、各種波形分析ソフトにより分析が可能です。

※1 サンプリング周波数により、ソフトウェアが対応していない場合があります。対応していないソフトウェアの場合は、サンプリングコンバータでサンプリング周波数の変換を行ってください。詳しくは、お問い合わせください。

サンプリング周波数とCFカードにおける収録時間

	256 MB	2 GB
48 kHz	30分	4時間40分
24 kHz	1時間	9時間20分
12 kHz	2時間10分	18時間50分
64 kHz	20分	3時間30分
32 kHz	50分	7時間
16 kHz	1時間40分	14時間10分

収録されるデータのファイル数によって若干異なります。

特長1

「収録音の再生」収録データを聞く※2ことにより、不要な音や不明な音がすぐに判ります。

※2 Windows Media Player 使用

- 例
- 騒音の分析を行ったが分析結果に不具合が有り、原因が不明。
 - 交通騒音の測定中にパトカーのサイレン音が入り、いつ通過したのか不明。
 - 建築音響ソフトNX-28BA※3を使用して遮音測定をしたが、1点のデータだけがほかのデータと一致しない。

※3 建築音響ソフトと併用が可能です

特長2

「収録音の再分析」収録波形から波形分析ソフトを使用することで、再分析が可能です。

- 例
- 1/1オクターブバンド分析をしたが、都合で1/3オクターブバンド分析が必要になった。
 - 1/3オクターブバンド分析をしたが、FFTでさらに細かく分析する必要ができた。

仕様

サンプリング周波数	
同時分析時	48 kHz、24 kHz、12 kHz
騒音計、オクターブバンド分析、1/3オクターブバンド分析	64 kHz、32 kHz、16 kHz
量子化ビット長	16 bit
データフォーマット	WAVE形式
周波数重み付け特性	Z特性(平たん特性)(固定)
録音機能	
イベントモード	レベル録音、インターバル録音、マニュアル録音
トータルモード	トータル録音
建築音響カード(NX-28BA)との併用時	
遮音、衝撃音測定時	トータル録音
残響時間測定時	プリトリガ(1秒)によるトータル録音

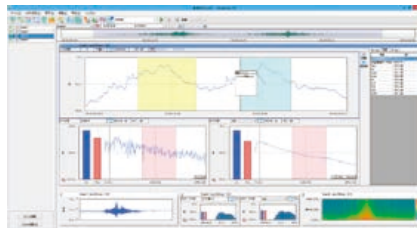
NA-28本体で、再生および再分析はできません。

Software NX-28WRで収録したデータは各種ソフトで表示・分析が可能

オプション

波形処理ソフト AS-70

希望小売価格(税別)
200,000円



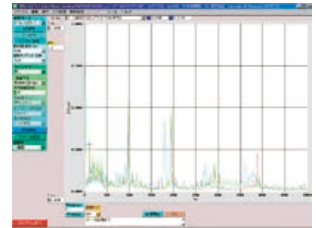
周波数分析画面例

オプション

波形分析ソフト CAT-WAVE

(本製品はキャテック株式会社の製品です)

希望小売価格(税別)
250,000円



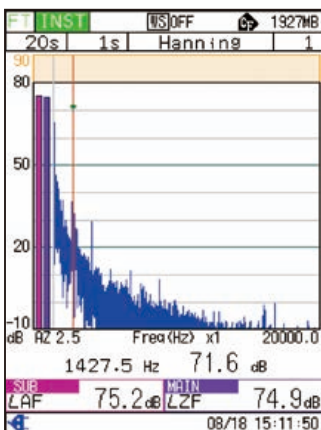
重ね書き画面例



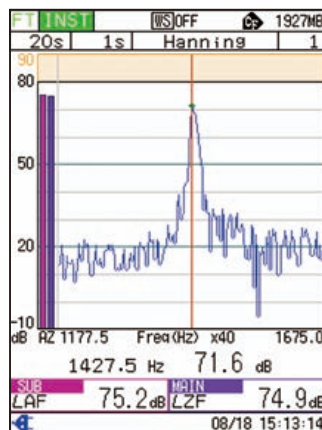
NX-28FFTはNA-28にFFT分析機能を付加するためのプログラムカードです。

- 分析周波数範囲：20 kHz(固定)
- 分析ライン数：8,000ライン固定(フレーム時間 400 ms、周波数分解能 2.5 Hz)

FFT分析カード NX-28FFT



測定画面(ズーム倍率×1)



測定画面(ズーム倍率×40)

仕様

適用規格	ISO 1996-2 : 2007 Annex C※1
測定モード	メインチャンネルのオールパス値およびFFT分析に加え、サブチャンネルのオールパス値を測定
測定項目	INST、LINもしくはMAXを同時に測定 測定時間 1~999秒
ダイナミックレンジ	100 dB
分析周波数範囲	20 kHz(固定)
時間窓関数	ハンニング、レクタンギュラ
スペクトルライン数	8,000ライン固定(フレーム時間 400 ms、周波数分解能 2.5 Hz)
サンプリング周波数	48 kHz(固定)
表示	
測定画面	FFT分析結果とオールパスレベルの同時表示画面
FFT表示ライン数	200ライン
ズーム倍率	×1、×2、×5、×10、×20、×40
トップリスト画面	レベルの高い順に上位20ラインの周波数とレベル値をリスト表示
トリガ	測定、メモリストアの開始を制御
レベルトリガ	トリガレベル(1 dB刻み)を閾値として測定を開始し、設定した測定時間経過後に測定を終了。 トリガ対象はメインチャンネルのオールパス値のみ。 スロープは+固定。
外部トリガ	外部トリガ端子のロジックレベルの立ち下がり信号を検出して開始
ストア	
マニュアルストア	測定結果を記録
記録データ数	
CFカード※2	最大100組を1ストア名として、20ストア名保存可能(内部メモリへは記録不可)
NX-28WRとの併用	併用時はLIN、MAX測定中の波形記録を行なう。 波形データはマニュアルストアデータと共にCFカードに記録

※1 本体で周波数分析のみを行い、トータル指標の計算はコンピュータで行う

※2 動作を保証する当社販売品をお使いください。



建築音響カード NX-28BA

NX-28BAはNA-28において、D値、L値などの建築物の空気音、床衝撃音遮断性能測定、N/NC値の測定や残響時間の測定を簡便に行うプログラムカードです。JISやISOに適合した測定や評価指標の計算も、NA-28本体で行えます。データはテキストファイルで保存され、指標計算はエクセルマクロでも行うことができます。また、波形収録カードNX-28WRと併用することで、測定時の音圧波形を同時に記録することが可能です。

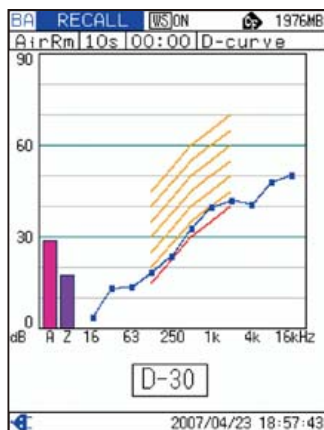
適合規格

JIS A 1417:2000	建築物の空気音遮断性能の測定方法 (ISO 140-4)	第1部: 標準軽量衝撃源による方法 (ISO 140-7)
JIS A 1418-1:2000	建築物の床衝撃音遮断性能の測定方法	第2部: 標準重量衝撃源による方法
JIS A 1418-2:2000	建築物の床衝撃音遮断性能の測定方法	第1部: 空気音遮断性能 (ISO 717-1)
JIS A 1419-1:2000	建築物及び建築部材の遮断性能の評価方法	第2部: 床衝撃音遮断性能 (ISO 717-2)
JIS A 1419-2:2000	建築物及び建築部材の遮断性能の評価方法	
ISO 140-5:1998, ISO 16032:2004		

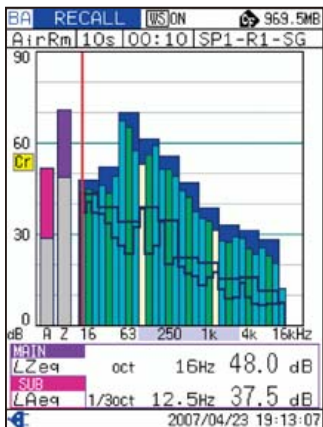
表示画面例



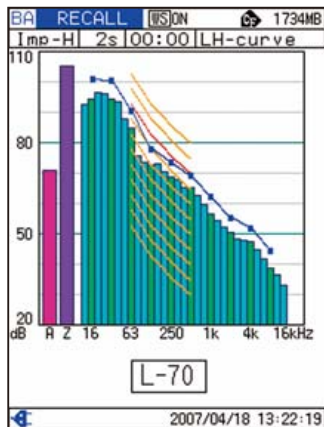
空間空気音遮断性能設定メニュー



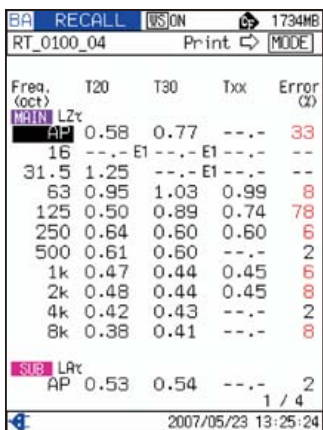
空間空気音遮断性能測定結果
(オクターブバンド分析時)



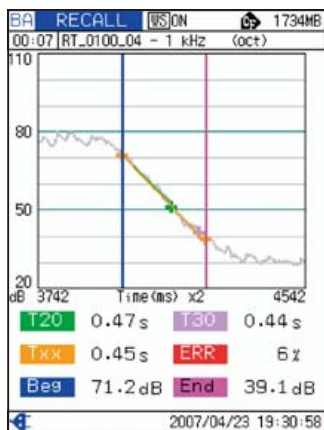
暗騒音重ね書き測定結果
(オクターブバンド、1/3オクターブバンド同時分析時)



重量床衝撃音遮断性能測定結果
(1/3オクターブバンド分析時)

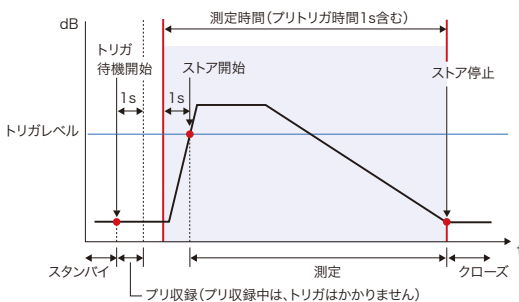


残響時間測定値リスト



残響時間減衰曲線測定結果

残響減衰曲線の測定



仕様

分析モード	オクターブバンド実時間分析、1/3オクターブバンド実時間分析 オクターブバンド、1/3オクターブバンド実時間の同時分析 (騒音計モードは使用不可)
測定項目 (測定モードによる)	時間重み付きサウンドレベル L_p 時間平均サウンドレベル L_{eq} 時間重み付きサウンドレベルの最大値 L_{max}
室内空気音遮断性能の測定	設定 測定時間 1~60秒 音源の設定数 1~8点 音源室測定点数 1~10点 受音室測定点数 1~10点 暗騒音測定モード None(なし)/Once(1点)/Before/During
計算	測定値の平均、単一値評価量、遮音等級値 (D値)
表示	L_p/L_{eq} (暗騒音音圧レベル)、 $L_p/L_{eq}/L_{max}$ (受音室音圧レベル) 暗騒音レベルとの重ね書き表示 (受音室測定時) 暗騒音レベルとの差が小さい場合の警告表示 (受音室測定時)
床衝撃音遮断性能の測定 (標準軽量床衝撃音による)	設定 測定時間 1~60秒 音源の設定数 1~8点 受音室測定点数 1~10点 暗騒音測定モード None(なし)/Once(1点)/Before/During
計算	測定値の平均、単一値評価量、遮音等級値 (LL値)
表示	L_p/L_{eq} (暗騒音音圧レベル)、 L_p/L_{max} (受音室音圧レベル) 等級曲線との重ね書き 暗騒音レベルとの重ね書き表示 暗騒音レベルとの差が小さい場合の警告表示
床衝撃音遮断性能の測定 (標準重量床衝撃音による)	設定 測定時間 1~60秒 音源の設定数 1~8点 受音室測定点数 1~10点 測定回数 1~5回 暗騒音測定モード None(なし)/Once(1点)/Before/During
計算	遮音等級値 (LH値)
表示	L_p/L_{eq} (暗騒音音圧レベル)、 L_p/L_{max} (受音室音圧レベル) 等級曲線との重ね書き 暗騒音レベルとの重ね書き表示 暗騒音レベルとの差が小さい場合の警告表示
室内騒音等級の測定	計算 室内騒音等級値 (N値もしくはNC値)
表示	等級曲線との重ね書き
残響時間の測定	ノイズ断続法 設定 測定時間 2~60秒 (サンプリング周期による) 繰返回数 1~10回
計算	T20、T30 (最小二乗法による)
表示	任意区間により算出された残響時間 残響平均時間、残響減衰曲線
その他の測定	外周空気音遮断性能の測定、設備機器騒音の測定
その他の機能	専用アドレス表示および自動インクリメント、 警告表示、設定変更監視機能、 波形収録機能 (NX-28WRが別途必要)
エクセルマクロ (日本語版)	室内空気音遮断性能の評価: D値の算出および評価曲線の表示 床衝撃音遮断性能 (標準軽量床衝撃音による) の評価: LL値の算出および評価曲線の表示 床衝撃音遮断性能 (標準重量床衝撃音による) の評価: LH値の算出および評価曲線の表示 室内環境騒音の評価: N値、NC値の算出および評価曲線の表示

仕様

型式承認番号	第SLF061号		
適合規格	騒音計：計量法精密騒音計	JIS C 1509-1:2005 クラス1、 JIS C 1516:2014 クラス1、 IEC 61672-1:2013/2002 class 1、 ANSI/ASA S1.4-2014/Part 1 class 1	
	JIS C 1513:2002 クラス1、JIS C 1514:2002 クラス1、 IEC 61260:1995 class 1、ANSI S1.11-2004 class 1 H27年11月1日施行の新基準による検定		
測定機能	騒音計モードと分析器モードを備え、それぞれにおいてメインチャンネル、サブチャンネルの同時測定を行う。周波数重み付け特性、時間重み付け特性はメインチャンネル、サブチャンネル個別に設定		
測定モード	騒音計モード メインチャンネル、サブチャンネルそれぞれにおいて以下の測定項目に示すオールパス値を測定。サブチャンネルでは L_{peak} 、 L_{tm5} いずれかを測定		
	分析器モード メインチャンネルではオクターブ、1/3オクターブバンド実時間分析およびオールパスを測定。サブチャンネルではオールパスのみ測定		
測定項目	選択された時間重み付け特性、周波数重み付け特性にて全項目を同時測定 1) 時間重み付けサウンドレベル L_p 2) 時間平均サウンドレベル L_{eq} 3) 音響暴露レベル L_E 4) 時間重み付けサウンドレベルの最大値 L_{max} 最大値はAPMaxとBandMaxが選択可能 5) 時間重み付けサウンドレベルの最小値 L_{min} 6) 時間率サウンドレベル L_N (1~99, 1 Step)を最大5個 L_p もしくは $L_{eq, 1sec}$ から算出(日本語のときは L_p のみ) 騒音計モードのサブチャンネルでは以下のいずれか1つの測定が可能 ピークサウンドレベル L_{peak} 時間重み付けサウンドレベル区間内最大レベルのパワー平均値 L_{tm5} 周波数重み付け特性はサブチャンネルと同様		
測定時間	1~59秒, 1~59分, 1~24時間		
マイクロホンおよびプリアンプ	マイクロホン UC-59 感度-27 dB±2 dB (re 1 V/Pa) プリアンプ NH-23		
測定レベル範囲	計量法	A特性: 25 dB~130 dB、 C特性: 33 dB~130 dB、 Z特性: 38 dB~130 dB	JIS C 1509-1 など A特性: 25 dB~140 dB、 C特性: 33 dB~140 dB、 Z特性: 38 dB~140 dB
直線動作全範囲 (A特性, 1 kHz)	25 dB ~ 140 dB		
ピークサウンドレベルの測定上限	143 dB		
自己雑音レベル	A特性 17 dB以下 C特性 25 dB以下 Z特性 30 dB以下		
測定周波数範囲	10 Hz~20 kHz		
分析周波数範囲	中心周波数 オクターブ分析 16 Hz~16 kHz(同時分析時は、8 kHzまで) 1/3オクターブ分析 12.5 Hz~20 kHz(同時分析時は、12.5 kHzまで)		
周波数重み付け特性	A、C、Z特性		
時間重み付け特性	メインチャンネル F、S、10 ms サブチャンネル F、S、10 ms、l		
直線動作範囲	オールパス(A特性) 110 dB スペクトル 95 dB		
レベルレンジ	騒音計モード バーグラフ表示範囲 最大100 dB 30 dB~130 dB 20 dB~120 dB 20 dB~110 dB 20 dB~100 dB 20 dB~90 dB 20 dB~80 dB		
	分析器モード バーグラフ表示範囲 90 dB 40 dB~130 dB 30 dB~120 dB 20 dB~110 dB 10 dB~100 dB 0 dB~90 dB -10 dB~80 dB		
サンプリング周期	L_{eq} 、 L_E 、 L_{max} 、 L_{min} 、 L_{peak} L_N 15.6 μ s (オクターブ、1/3オクターブ同時分析時は20.8 μ s) 100 ms		
補正機能	防風スクリーン 補正機能 On/Offはメニュー画面で操作 拡散音場補正機能 補正機能のOn/Offはメニュー画面で操作		
表示	バックライト付きカラーTFT半透過液晶表示器(240x320 dots) 更新周期 100 ms		
トリガ	測定、メモリストアの開始を制御 レベル1 トリガレベル(1 dB刻み)を閾値として測定を開始し設定した測定時間経過後に測定を終了。スロープ+/-を設定 レベル2 トリガレベルを超えている間1回のみ測定 外部 外部トリガ端子のロジックレベルの立ち上がり信号を検出し開始 時刻 スタート時刻とトリガ発生時の繰返しインターバルを設定 遅延時間 スタートキーが押されてから、測定開始またはトリガの監視までの時間を設定 設定時間 0~10 sの範囲で1 s刻みで設定		

直前データ除去機能	ポーズキーで測定を一時停止し、その時点から5秒間戻りデータを演算から除外		
ストア	マニュアルストアまたはオートストアモードで騒音レベル値や演算結果を記録。ストアは内部メモリもしくはCFカードのいずれかに記録。内部メモリは、1ブロックを有し、マニュアルストア、オートストア1、2のいずれかひとつを選択可能		
マニュアルストア	手で1アドレスずつ測定結果を測定開始時刻とともに記録		
記録	内部メモリ	最大1 000組	
データ数	CFカード*	最大1 000組を1ストア名として、100ストア名保存可能	
オートストア	測定結果を設定した時間間隔で連続記録(記録中に発生した事象に対して識別ができるよう4種類のマーカ情報の付加が可能)オートストア中のポーズは不可		
オート1	測定時間 騒音計モード サブサンプリング周期 内部メモリ使用時 分析器モード メインチャンネル サブチャンネル サンプリング周期 内部メモリ使用時		
	最長1 000時間(CFカード使用時の時間、内部メモリ使用時は下記参照) L_p 、 L_{eq} 、 L_{max} 、 L_{min} を一組として100 msごとに、CFカードに連続記録 サブチャンネルの測定結果は記録不可 100 ms(L_p 、 L_{eq} 、 L_{max} 、 L_{min})のみ 最長3時間 各バンドレベルとオールパスの時間重み付けサウンドレベル(L_p)をCFカードに連続記録 オールパス値と各バンドレベル値 オールパス値のみ 1 ms~1 s、 L_{eq} 、1s 最大10 000個(1 sもしくは L_{eq} 、1s時に2.7時間)		
オート2	騒音計モード 分析器モード 記録データ数		
	測定時間ごとのメインチャンネルとサブチャンネルのオールパスの測定値と測定開始時刻をCFカードへ連続記録 測定時間ごとにメインチャンネルの各バンドレベルとオールパス値、サブチャンネルのオールパス値と測定開始時刻をCFカードへ連続記録 内部メモリ 最大1 000組、CFカード 最大300 000組		
データリコール	ストアデータの閲覧、時間対レベル表示(ただし選択した周波数1バンドのみ)		
設定記憶	最大5組までの設定を内部メモリに保存し、呼び出しが可能 あらかじめCFカードに保存されたファイルの設定条件で起動可能		
入出力	交流出力 出力電圧 出力抵抗 負荷抵抗 直流出力 出力電圧 出力抵抗 負荷抵抗 コンパレータ出力 最大印加電圧 最大駆動電流 外部トリガ入力 USB リモコン受信		
	メインチャンネルまたはサブチャンネルのどちらかのオールパス信号を選択して出力 レンジフルスケールにおいて1 V(実効値) 600 Ω 10 k Ω 以上 メインチャンネルまたはサブチャンネルのどちらかのオールパス信号を選択して出力 レンジフルスケールにおいて3.0 V、25 mV/dB 50 Ω 10 k Ω 以上 オープンコレクタ出力、バンドレベルで判定することも可能。端子はコンパレータと兼用 24 V 50 mA 0 V~5 Vロジックレベルの立ち上がりエッジを検出。端子はコンパレータと兼用 PCにはストレージデバイスとして接続するほか、コミュニケーションデバイスクラスを利用し、通信コマンドによる制御も可能(ただし、通信コマンドではストアデータの転送およびストア動作に関わる設定不可) 赤外線リモコンでNA-28の制御(リモコンNA-27RC1、オプション)		
電源	単2形乾電池×4本、または外部電源使用(ACアダプタNC-94B、付属)		
動作時間	サブチャンネル、バックライト、交流出力、直流出力、USB通信機能、リモコン機能Off、オートストア未使用時		
(23°C、通常動作時)	乾電池 R14PU 6時間(マンガン乾電池)、LR14 16時間(アルカリ乾電池) ACアダプタ NC-94B 外部電源電圧 5 V~6 V(定格電圧 6 V) 消費電流 230 mA(通常動作、定格電圧時)		
使用温度範囲	-10°C~+50°C、10%RH~90%RH		
大きさ・重さ	331(H)×89(W)×51(D) mm・約730 g(電池含む)		
付属品	メモリーカード(256 MB)MC-25LC1×1、収納ケース×1、ソフトケース×1、ACアダプタ NC-94B×1、防風スクリーン WS-10×1、BNC-ピン出力コード CC-24×1、ストラップ×1、単2形乾電池(アルカリ)×4		
希望小売価格 検定付き(税別)	828,000円		
希望小売価格 検定無し(税別)	800,000円		

オプション

品名	型式	希望小売価格(税別)
建築音響カード	NX-28BA	350,000円
波形収録カード	NX-28WR	150,000円
FFT分析カード	NX-28FT	250,000円
リモコンユニット	NA-27RC1	6,900円
音響校正器	NC-74	85,000円
メモリーカード(CFカード)*1	256 MB、2 GB	お問い合わせください
バッテリーパック	BP-21A	30,000円
マイクロホン延長コード*2	EC-04(2 m~)	9,200円~
デュアル変換アダプタ	CC-59S01	2,000円

*1 動作を保証する当社販売品をお使いください *2 マイクロホン延長コードは、35 mまでが計量法の検定の対象です。



当社は、認定基準としてISO/IEC 17025 (JIS Q 17025)を用い、認定スキームをISO/IEC 17011に従って運営されているJCSSの下で認定されています。JCSSを運営している認定機関(IA Japan)は、アジア太平洋試験所認定協力機構(APLAC)及び国際試験所認定協力機構(ILAC)の相互承認に署名しています。当社の品質・環境統括センターは、国際MRA対応JCSS認定事業者です。JCSS0197は品質・環境統括センターの認定番号です。

ISO14001 本社・東日本営業所・東海営業所・西日本営業所 認定取得
ISO9001 本社・東日本営業所・東海営業所・西日本営業所・九州・リオンサービスセンター 認定取得



*本カタログに掲載されている価格はメーカーが希望する小売価格です。*本カタログ掲載の会社名、商品名は一般に各社の登録商標または商標です。*本カタログ掲載の各製品のデザイン・仕様などは予告なく変更する場合があります。

技術相談受付 ☎ 0120-26-1566

当社の休日および土・日・祝日を除く 9:00~17:00

本社・営業部	〒185-8533 東京都国分寺市東元町 3 丁目 20 番 41 号 TEL.042-359-7887 FAX.042-359-7458
東日本営業所	〒336-0017 さいたま市南区南浦和 2 丁目 40 番 2 号 南浦和ガーテンビル TEL.048-813-5361 FAX.048-813-5364
西日本営業所	〒530-0001 大阪市北区梅田 2 丁目 5 番 5 号 横山ビル TEL.06-6346-3671 FAX.06-6346-3673
東海営業所	〒460-0002 名古屋市中区丸の内 2 丁目 3 番 23 号 和波ビル TEL.052-232-0470 FAX.052-232-0458
九州リオン(株)	〒812-0039 福岡市博多区冷泉町 5 番 18 号 TEL.092-281-5366 FAX.092-291-2847
上海理音科技有限公司	郵編200233 中国上海市徐匯区宜山路900号 科技産業文化大樓 C区501室 TEL.021-5423-5082 FAX.021-5423-5266
リオンサービスセンター(株)	〒192-0918 東京都八王子市市兵衛 2 丁目 22 番 2 号 TEL.042-632-1122 FAX.042-632-1140